

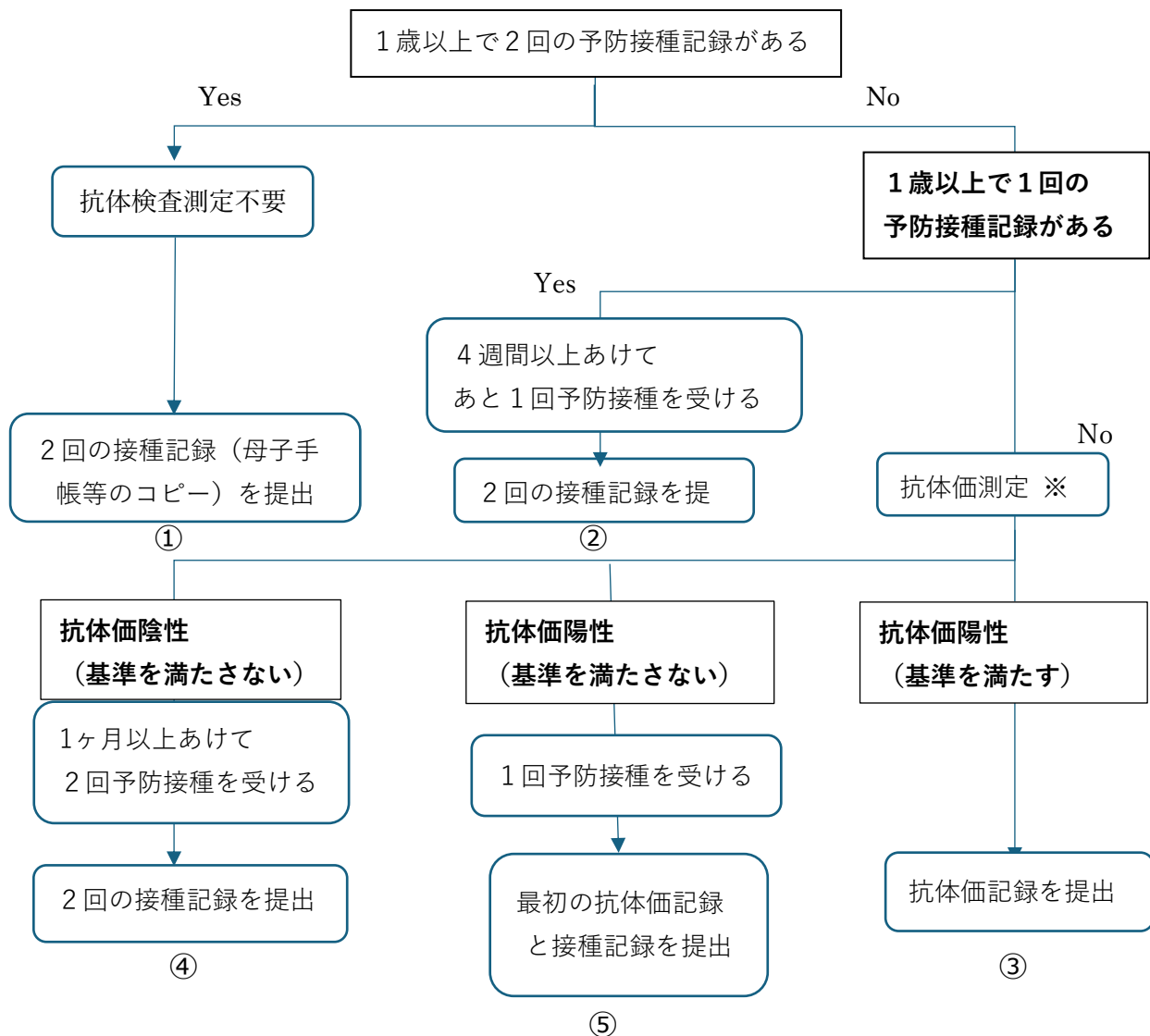
流行性ウイルス感染症及びB型肝炎ウイルスについて

1. 流行性ウイルス感染症（麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎）について

下記のフローチャート内の①～⑤のいずれかを満たしてください

ワクチン接種の記録や抗体検査の結果を別紙「結果報告書」に記入し、提出してください。基準を満たさない場合は、医師と相談の上、本人の責任のもと、ワクチン接種をしてください。

ワクチンが接種できなかった場合は、その理由を別様式にご記入ください。



※ 抗体価を測定せず、4 週間以上あけて2 回予防接種を受け、その記録の提出でも可

○ 上記のいずれにも該当しない場合、少なくとも4 週間以上開けて「2 回」の予防接種を受け、その記録を提出する

○ 予防接種後の確認抗体価検査は不要

北海道大学病院における受託実習生・研修生の受入に係るワクチン接種等の基本方針 引用

<https://clinical-training-center.huhp.hokudai.ac.jp/hospital-training/policy/> 2022/10/22 閲覧

	検査方法	研修・実習可能な基準
麻疹	E I A (I g G)	16.0 以上
	P A	256 以上
	N T	8 以上
風疹	H I	32 以上
	E I A (I g G)	8.0 以上
水痘	E I A (I g G)	4.0 以上
	I A H A	4 以上
	N T	4 以上
流行性耳下腺炎	E I A (I g G)	4 以上

「日本環境感染学会医療関係者のためのワクチンガイドライン」第3版に準拠

2. B型肝炎ウイルス（H B V）について

H B s 抗体検査（CLIA 法・EIA 法・CLEA 法・RIA 法）を記録で確認できる方は、その結果を別紙で「結果報告書」に記入し、提出してください。

ワクチン接種は推奨です。接種日が分かる場合は報告書に記載してください。

3. 新型コロナウイルス、季節性インフルエンザワクチンについて

新型コロナウイルスワクチンは必須ではありません。

季節性インフルエンザワクチンは冬季の実習においては接種を推奨します。

※「結果報告書」は東京通信病院で実習をされる方に7月下旬送付予定です。

（書式：本人自署、ワクチン接種・抗体価測定記録のコピーを添付）